

兵庫県豊岡市但東町

日本・モンゴル民族博物館年報

第 12 号 (平成 22 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No.12 (for the fiscal year of 2010)

あ い さ つ

日本・モンゴル民族博物館が開館し、早いもので14年が経過しました。来年度はいよいよ開館15周年目を迎えます。

平成22年度は企画展4回開催し、これまでの企画展は53回をかぞえ、「小さなまちの大きな国際交流」を標榜しながら、モンゴルの歴史や文化を広く紹介してきました。なかでも第50回の企画展は、モンゴル国から鉱物資料や動物化石標本を直接お借りし、過去、なかなか実現出来なかった企画が開催出来たことは、これまでの活動で蓄積した国際交流が実を結んだ賜物と思っています。今後も国際交流の成果や特性を活かしつつ、多様な活動を進めてまいります。

平成22年度は、記録的な異常気象でありました。夏場は猛暑日が続き、また、冬場は大晦日から但東では5年ぶりの豪雪に見舞われました。また、舞鶴若狭自動車道の高速料金無料化により観光客の入込みを期待したものの、舞鶴・四国方面に観光客が流れるなど、当館にとって入館者の増加に繋がらなかったことが大きな要因として考えられます。今後においては、市議会からご指摘を受けています博物館・美術館が相互に連携し、市内の学校を巻き込んだ取組みなどを強化していく所存であります。

一昨年、他界した故金津前館長の追悼と功績を紹介するため、1周年に合わせ追悼文集を親交のあった方々のご協力を得て発刊し、さらに、同館長が少年時代から考古学の収集と研究してきた足跡を但馬国府・国分寺館と共催で企画展として開催しました。また、民間ボランティアの皆さんのご協力を得て、第1回モンゴルフェスティバルを4月に開催するなど、多くの関係機関によるご支援ご協力を賜りながら博物館運営が出来ていることに対して感謝を申し上げます。

地域振興、活性化に寄与するのはもちろんですが、何よりも博物館活動の主役は利用者であることを念頭に置き豊岡市民をはじめ、多くの皆様と協働し、進化を続ける博物館づくりに努める所存です。

平成23年3月31日

日本・モンゴル民族博物館
館長 井地喜代志



平成22年度 第9回モンゴル友好訪問使節団

目 次

I. 平成 22 年度概要・・・・・・・・・・	3	VI. 管理運営・・・・・・・・・・	14
II. 展示事業・・・・・・・・・・	3	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
III. 資料収集保存事業・・・・・・・・・・	5	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
IV. 普及教育事業・・・・・・・・・・	7	8. 博物館日誌抄	
1. 出前授業		9. お客様の声から抜粋	
2. 体験教室・講座の開催		10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理 に関する条例	
3. 講師派遣		11. 施設概要	
4. イベントの開催		12. 交通案内	
5. 博物館実習生の受入		13. 利用案内	
6. 教員のための研修			
7. トライやる・ウィークの受入			
8. 情報の発信と公開			
V. 国際交流事業・・・・・・・・・・	11		
1. モンゴル国との国際交流			

I. 平成 22 年度概要

平成 22 年度は展示活動や資料収集・調査・施設管理・教育普及活動を中心に取り組んだ年であった。また、当館を取り巻く環境としては、さまざまな関係機関との連携をより密にするよう活発に活動した年でもあった。

利用者数については、昨今の景気低迷と異常気象などを反映し、対前年度比 20.3% 減と大きく減少の一途を辿った。特に、チューリップまつり入込み客の減少と夏季の猛暑、冬季の豪雪の影響を受け、4 月と 7 月～10 月の夏季から秋季にわたり利用が大きく落ち込んだことがその原因と考えられる。豊岡市の厳しい財政事情の中で、大きな課題とされている。

展示事業では、モンゴル国の鉱物・動物標本展示、

モンゴルをテーマとした版画、モンゴルの工芸品と技法紹介、そして、故金津前館長の追悼と功績を紹介することを目的とした、「ある考古学少年の夢」など、さまざまな分野の企画展を 4 回行った。

なお、教育普及活動や文化財保護活用事業についても、前年度に引き続き積極的に行っている。

国際交流事業については、市が行うモンゴル国友好訪問事業として地元中学生 7 名を含む 10 名の友好訪問使節団が 8 日間、モンゴル国を訪問した。また、国の「21 世紀東アジア青少年大交流計画」の一環で、昨年に引き続き、モンゴル高校生訪日団 20 名の受入れを通し、多くの方々との親交を深めることが出来た。

II. 展示事業

1. 常設展

(1) 常設展の構成

博物館の常設展示は、A 棟のたんとうの森、B 棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C 棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ① たんとうの森……人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ② アジアの歴史と風土……新石器時代から近代に至るまでの歴史資料を展示
- ③ モンゴル草原の暮らしと文化……ゲルとよばれる移動式住居を中心に衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④ モンゴル草原のいのり……チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具等を展示
- ⑤ 伝承文化体験交流館……山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の大幅な更新を行い、より利用しやすい工夫を実施してきた。

平成 22 年度は、次のような部分について実施した。

- ① モンゴル草原の暮らしと文化
民族衣装や装飾品を中心に展示資料の一部入れ替えを行った。
- ② モンゴル草原のいのり
展示資料の一部入れ替えを行った。
- ③ 伝承文化体験交流館の歴史コーナー
展示資料の一部入れ替えを行った。

(3) 屋外展示

- ① 竪穴式住居
竪穴式住居を取り壊し、跡地を整地し畑として花卉や野菜栽培する。
- ② 山羊小屋
小屋及び周囲の柵が、損傷と老朽化したため補強修繕する。

(4) 展示解説の積極な促進

展示資料をより深く理解いただくため、職員による館内のガイドを促進している。利用者一人一人のニーズに合った解説を職員が行うことで、更に博物館を楽しんでいただきたいと従前より行ってきた活動であるが、平成17年度以降はより積極的に取り組んでいる。館内見学の一助となれるよう、利用者の興味や目的に沿った柔軟な解説を心がけている。

また、利用者からのアンケートを取り、要望がある場合はそれに沿えるよう職員が努力している。

2. 企画展

(1) 第50回企画展

大地の鼓動～モンゴルの大自然と動物たち～

平成22年4月8日～平成22年8月31日

126日間（見学者数6,665人）

モンゴル国土から採取される鉱物資源、動物の剥製や骨格標本などを展示し、自然を環境破壊から守るモンゴルの姿を紹介する。モンゴル国立自然史博物館と学術協定し、資料を借用して開催した。



第50回企画展 展示風景

(2) 第51回企画展

版画で描くモンゴルの情景 アラタントウ展

平成22年9月2日～平成22年11月23日

72日間（見学者数1,929人）

モンゴル族、中国内モンゴル自治区巴林右旗出身の中国を代表する版画家、アラ担图(アラタントウ)氏が描くモンゴルを題材とした芸術世界を紹介した。なお、この展示は日本では初めての企画である。



第51回企画展 展示風景

(3) 第52回企画展

モンゴルの工芸—その文化を探る—

平成22年11月25日～平成23年2月8日

59日間（見学者数1,214人）

モンゴルの人々に、古くから現在まで継承されてきた生活用品や装飾品などを集め、職人たちのすぐれた技巧、文化を紹介した。



第52回企画展 展示風景

(4) 第53回企画展

ある考古学少年の夢II

—故金津前館長の資料収集と秘話—

平成23年2月10日～平成23年4月5日

48日間（見学者数1,601人）

前館長、故金津匡伸氏が集めたモンゴルの民族資料や、国内の考古学資料を展示。収集時のエピソードも紹介。



第53回企画展 展示風景

III. 資料収集保存事業

当館が所蔵している資料は約2万点以上に及ぶ国内外の資料で構成されている。寄贈されたモンゴル民族資料1万5千点、考古資料5千点を基礎資料としながら、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、また個人が大切に保管されていたもので寄贈又は寄託いただいたもの、モンゴル国内や全国各地から寄贈いただいた資料を収蔵している。

資料の収集は、寄贈・寄託・購入・採集・交換など、さまざまな方法で行っている。当館は郷土やモンゴルの自然や歴史・民族・文化に関する資料を収集するとともに、それぞれの分野でのテーマに応じ、比較資料となる国内外の資料も収集対象としている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料（敬称略）

受 入 日	氏 名	住 所	資 料 名	数 量
平成22年8月12日	J・ミャンダス	モンゴル国	シャガイ（羊）	183
			シャガイ（馬）・袋一式（緑）	3
平成22年9月23日	宇津崎光代	京都府左京区	帯（ブス）	2
平成22年10月7日	瀬崎彊	豊岡市日高町	図録	2
平成22年11月10日	JENESYS モンゴル国高校生	モンゴル国	革製壁掛け（チンギスハーン像）	1
平成22年12月27日	野川 篤	豊岡市出石町	針箱	1
平成23年1月11日	小中 勝利	広島県南区皆実町	モンゴル服	5
			モンゴル靴	2
			モンゴル帽子	4
			ツァムお面（お土産用）	6
			酒瓶	1
			水筒	1

受入日	氏名	住所	資料名	数量
平成23年1月11日	小中 勝利	広島県南区皆実町	モンゴル服	5
			モンゴル靴	2
			モンゴル帽子	4
			ツァムお面（お土産用）	6
			酒瓶	1
			水筒	2
			お椀	1
			水差し	1
			マニ車	2
			ホンホ（鐘）	1
			キセル（モンゴル国タイプ）	3
			キセルメンテナンス道具	1
			独鈷杵	1
			経典（シート10枚、 木製表紙裏表紙各1枚）	1
			帽子（ローボーズ：モンゴル国）	1
			タルバガン毛皮	3
			馬頭琴ミニチュア	2
			タンカ	1
			仏画（お土産用壁掛け）	1
			モンゴル国旗	5
			日本国旗	1
			モンゴル国オリンピック委員会テナント	1
			カレンダー1995年版「モンゴル国の聖なる横綱たち」	1
			モンゴル服帯	3
			ハダック（白）	2
			ハダック（青）	8
			鞍（お土産用）スタンド付き	3
			壁掛け（お土産用）	1
			ブーツ（お土産用）	4
			額絵（お土産用）	10
			草絵（お土産用）	2
			パズル（お土産用）	3
			アイベックススプーン（お土産用）	1
			馬頭琴ミニチュア（お土産用）	1
			カエル車（お土産用）	1
			ゲル（お土産用）	1
			ツァム人形（お土産用）	2
			馬（お土産用）	1
			ツァムお面（お土産用）壁掛け用穴あり	1
			シャガイ	1
			人形（お土産用）	30

(2) 図書寄贈者一覧 (敬称略・順不同)

【個人】

D. ウルタナサン (モンゴル国)

瀬崎 彊 (豊岡市日高町)

田中 公明 (東京都太田区)

② 豊岡市立出土文化財管理センター

城ヶ谷窯跡出土須恵器片一括

③ 河部艶子 (豊岡市国際交流協会)

民族衣装 2 着、民族帽子 2 点、帯 2 点、シャガイ
22 点、風景パネル 12 点、食品サンプル 24 点

2. 資料の貸出

① 樹岡正宏 (新温泉町役場)

民族衣装 (大人用) 1 着、民族衣装 (子ども用) 1 着、
民族帽子、馬頭琴

3. 資料の燻蒸

平成 22 年度は、それぞれ年 2 回ずつ、クリーン有
限会社にて全館を対象にピレスロイド系殺虫剤、有機
リン系乳剤を噴霧し、殺虫・防虫処理をした。

また、収蔵庫内においても年 3 回蒸散剤を設置し
殺虫・防虫処理を実施している。

IV. 普及教育事業

1. 出前授業

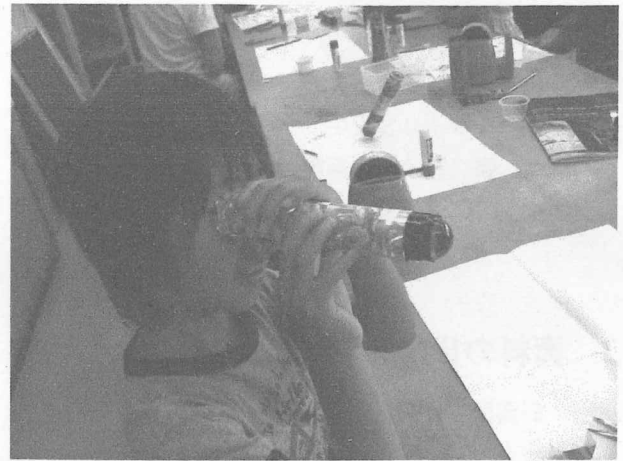
学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派
遣する出前授業を平成 12 年度から実施している。授
業では教員と協同し持参した博物館資料を活用するな
ど、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

豊岡市および近隣の但馬管内の学校を中心に、幼稚
園・小学校・中学校・高等学校を平成 22 年度は 24
校 1,249 人を対象に出前授業を実施した。

- ① 5月19日 はぐくみ福住っ子 28名
「ペーパークラフトのワークショップ」
- ② 5月28日 私立近畿大学附属豊岡中学校 1年生6名
「豊岡市を調べる(但東)」
- ③ 12月17日 福知山市立天津小学校 2~4年生28名
「スーホの白い馬」
- ④ 1月18日 兵庫県立日高高等学校 1年生78名
「モンゴル民族音楽コンサート」(しゃが西村
幹也氏、ドルジパラム氏、クグルシン氏)
- ⑤ 1月19日 兵庫県立出石高等学校 1・2年生335名
「モンゴル民族音楽コンサート」(しゃが西村
幹也氏、ドルジパラム氏、クグルシン氏)
- ⑥ 1月27日 朝来市立枚田小学校 2年生52名
「スーホの白い馬」
- ⑦ 1月28日 豊岡市立豊岡小学校 2年生73名

- ⑧ 2月1日 豊岡市立五荘学校 2年生143名
「スーホの白い馬」
- ⑨ 2月3日 香美町立香住小学校 2年生80名
「スーホの白い馬」
- ⑩ 2月4日 朝来市立大蔵小学校 2年生44名
「スーホの白い馬」
- ⑪ 2月8日 香美町立小代小学校 2年生16名
「スーホの白い馬」
- ⑫ 2月10日 京丹後市立郷小学校 2年生10名
「スーホの白い馬」
- ⑬ 2月11日 豊岡市立新田小学校 2年生47名
「スーホの白い馬」
- ⑭ 2月15日 朝来市立山口小学校 2年生33名
「スーホの白い馬」
- ⑮ 2月17日 京丹後市立大宮第三小学校 1・2年生22名
「スーホの白い馬」
- ⑯ 2月18日 京丹後市立吉原小学校 2年生30名
「スーホの白い馬」
- ⑰ 2月22日 香美町立村岡小学校 2年生32名
「スーホの白い馬」
- ⑱ 3月1日 朝来市立竹田小学校 2年生30名
「スーホの白い馬」
- ⑲ 3月3日 福知山市立明正小学校 2年生14名
「スーホの白い馬」

- ㊫ 3月4日 京丹後市立峰山小学校 2年生 42名
「スーホの白い馬」
- ㊬ 3月7日 養父市立大屋小学校 2年生 29名
「スーホの白い馬」
- ㊭ 3月8日 朝来市立中川小学校 2年生 29名
「スーホの白い馬」
- ㊮ 3月10日 朝来市立生野小学校 2年生 38名
「スーホの白い馬」
- ㊯ 3月11日 京丹後市立五箇小学校 2年生 10名
「スーホの白い馬」



つくって遊ぼう～ビー玉万華鏡の様子

2. 体験教室・講座の開催

開催日、教室、講座名、参加者数の順に記載

- ① 6月12日 オオサンショウウオ土鈴作り 2名
- ② 6月20日 七宝焼
豊岡市立資母小学校3年学P 28名
- ③ 6月27日 マグカップづくり
豊岡市立合橋小学校1年学P 22名
- ④ 7月4日 マグカップづくり
豊岡市立高橋小学校1・2年学P 12名
- ⑤ 7月29日 つくって遊ぼう
～ビー玉万華鏡 7名
- ⑥ 7月31日 マグカップづくり
豊岡市立寺坂小学校1・2年学P 17名
- ⑦ 8月1日 風鈴作り 10名
- ⑧ 8月1日 オオサンショウウオ土鈴作り 2名
- ⑨ 8月8日 手作り! ミニ馬頭琴 8名
- ⑩ 8月20日 松ぼっくりのキャラクター 5名
- ⑪ 8月22日 七宝焼に挑戦 2名
- ⑫ 10月14日 紙飛行機づくり
出石・但東なかよし交流会 21名
- ⑬ 11月20日 切り絵(しおり)体験 2名
- ⑭ 12月19日 サンドプラスト体験
如布こども会 15名
- ⑮ 2月19日 切り絵(しおり)体験 4名
- ⑯ 2月21日 切り絵(しおり)体験 5名

合計 16講座 162名



マグカップづくりの様子

3. 講師派遣

館外からの依頼を受けて行った講師派遣等を月日・依頼者・内容の順に記載。なお、小・中学校からの依頼による出前授業については、普及教育事業1. 出前授業に記載している。

- ① 8月7日 たまりばしば
『紙飛行機づくり』



紙飛行機づくり教室の様子

② 平成23年1月16日

きて・みて・きいて まるごとモンゴルお正月



まるごとモンゴルお正月の様子

4. イベントの開催

① 4月25日

第1回モンゴル博物館フェスティバル 音楽で旅するモンゴル



モンゴル博物館フェスティバルの様子



モンゴル博物館フェスティバルの様子

5. 博物館実習生の受入

当館では、大学からの依頼により、博物館実習生を受け入れている。博物館実習のカリキュラムは下記のとおりで、博物館職員全員が指導にあたり、資料の整理や調査方法などについて実習を行っている。

● 主な実習内容

ガイダンス、博物館の管理と運営、館内施設見学、受付実習、資料の取り扱い、考古資料の拓本・実測、資料の写真撮影、展示解説実習、体験教室補助実習、他館類似施設の見学等を行っているが、平成22年度は依頼が無かった。

6. 教員のための研修

豊岡市教育委員会からの依頼により、市内に勤務する幼稚園・小学校・中学校教員対象の職場体験「先生のトライやる」を実施し、当館職員が指導に当たった。資料の確認、体験教室補助、窓口業務、清掃等施設管理など、博物館に対する理解を高めることができた。

① 田村 典嗣 教頭（豊岡市立高橋小学校）

8月2日～5日 3日間

② 古保 治郎 教諭（豊岡市立豊岡北中学校）

8月17日～20日 3日間

7. トライやる・ウィークの受入

兵庫県では中学生が地域の事業所等で職業体験を行う「トライやる・ウィーク」という事業を実施している。県内の中学2年生が学校を離れ、1週間地域社会での実体験を通して学習を行う取り組みである。

平成22年度は5月31日～6月4日の5日間、豊岡市立但東中学校2名（加藤翔真、坂岡佐紀）を受け入れた。資料の整理・保管やオポー護符布の製作、エコカーテン・花植え、管内文化財パトロール、受付・案内補助、館内外の清掃、ホームページの更新等の業務を行った。

当館では職員数の関係上、専門の職員が個別の業務のみを行うのではなく、分担して様々な業務を行っている。わずかずつではあるが、今回の職業体験ではこうした点も感じてもらったのではないかと考えている。

【生徒の感想（抜粋）】

一番印象に残ったことは、文化財パトロールです。但東町のいろいろな文化財を見て回れたことが、とても楽しく勉強になったからです。様々な文化財があり、その文化財を守っていかなければいけないという事は、とても大変だと思いました。今後は、このトライやるウィークで得た、あいさつの重要性、ていねいな作業の必要性を将来にいかしていこうと思います。

（加藤）

はじめは、博物館の仕事がどんなものなのか分かりませんでした。今回の体験で、私たちの知らないところでの目にふれない仕事があると知り、驚きました。仕事はどんな小さなことも大切だということ。また、博物館の仕事は来館された人はもちろん、その地域のための仕事があり、とてもやりがいのある仕事だと感じました。

（坂岡）

8. 情報の発信と公開

博物館を有効に活用する利用が増えるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信していくことは博物館にとって重要な活動の一つである。最近はインターネットによる情報発信も重要な手段になっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

(1) 博物館の広報活動

- ① 博物館案内等の主な定期発送先
小学校 190校 中学校 70校 高等学校 11校
報道関係機関等 9社
- ② 報道機関への情報提供
- ③ 旅行会社への情報提供

(2) インターネットによる情報提供

- ① 電子メール
- ② ホームページ
インターネット利用者の増加に伴い、博物館でもその技術を活用した情報提供の可能性を探ってきた。平成11年8月16日からホームページを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページの更新や追加は毎月の催し物案内のように定期的に行うもののほか、各担当により随時行っている。

V. 国際交流事業

1. モンゴルとの国際交流

モンゴル国との交流については、研修生の受入、友好訪問使節団の派遣、豊岡市国際交流事業の協力支援、各種イベントの開催など多くの方との関わりのもと継続して行っている。

平成 22 年度についても、豊岡市主催による市内の中学生を中心とした友好訪問事業として、モンゴル国へ真野副市長を団長とする中学生 7 名、教師 1 名、事務局 1 名の計 10 名を 8 月 3 日から 8 月 10 日までの 8 日間、第 9 回モンゴル友好訪問使節団として派遣した。モンゴル友好訪問使節団派遣は隔年事業として実施している。

また、モンゴル民族音楽コンサートの開催、モンゴル国立自然史博物館長等の来訪など、様々な事業を行った。

- ① 4 月 6 日～ 13 日
モンゴル国立自然史博物館館長 N. ゾリグトバートル氏来訪
- ② 5 月 18 日
セレンゲ県マンダル町トゥンヘンの所長 S. ラドナーバザル氏来訪
- ③ 9 月 7 日～ 13 日
モンゴル国立自然史博物館副館長 J. ミヤンダス氏来訪
- ④ 11 月 10 日
JENESYS (21 世紀東アジア青少年大交流計画)
モンゴル国高校生 9 名来館
- ⑤ 11 月 20 日～ 21 日
モンゴル族中国内モンゴル自治区巴林右旗出身の版画家 阿拉担图 (アラタントウ) 氏来訪
- ⑥ 平成 23 年 1 月 11 日～ 22 日
モンゴル民族音楽奏者ドルジパラム氏、クグルシン氏、西村幹也氏の受入。滞在期間中にイベント「まるごとモンゴルお正月」の開催、ミニコンサート (市内の小・中学校、高等学校、近隣 観光施設等) の実施。



N. ゾリグドバートル氏市長表敬訪問



モンゴル高校生来館の様子

【第 9 回モンゴル友好訪問使節団参加者の感想 (抜粋)】

2 日目はツーリストキャンプに移動してそれから野生馬のタヒを見に草原に行きました。そこに行くまでの私が思っていた草原というのはとても緑豊かなイメージでした。実際に行ってみると私の予想どおり緑が多くとてもきれいな草原でした。そんな草原を何と標高 1,800 m くらいまで登りました。酸素が少ないためすぐに息が上がり、呼吸するのがとても大変でした。でもその高さから見える景色はとても爽快で、日本では見ることができないほど素晴らしい景色でした。それに遠くからだったけどタヒも見ることができてよかったです。日本では野生馬を見る機会がないので貴重な体験をしました。

その夜は初めてゲルに泊まりました。とても楽しみにしていたけど、思った以上に寒くてストーブなしではとても生活できないほどでした。そこでは火おこしとか薪割りなど、普段できないような体験ができました。夜はみんなでモンゴルのカードゲームの遊びを教えてもらいながら、大勢の人数と遊んだりして楽しい思い出ができました。

この日の夜には満天の星空を見ることができました。日本とは全然違い、手を伸ばしたら届きそうなくらい星が近くに感じられるし、とてもきれいだったので感動しました。この日はいろんな自然体験をしたり、動物を見たりしてとても楽しい一日となりました。

(松岡)



ホームステイ先にて

3日目は、モンゴルにちょっとだけ慣れてきたなあという感じで、環境や食のことも理解してきていました。その日は、朝、ツーリストキャンプ場を出てウランバートルへ向かいました。その途中に砂漠化が進んでいる草原を見ました。地球温暖化で、あの美しく広大な緑も砂漠と化していつに失われている風景を見て、環境問題についても考えさせられました。

ウランバートルに着くとレストランで昼食をとりました。この店の料理のボリュームがすごくてびっくりしました。食事中に、馬頭琴と日本でいう琴のような楽器を使ったミニコンサートを鑑賞しました。初めて馬頭琴の音色を聞いて、聞いたことのない音だったので感動しました。日本にはないモンゴルの文化らしい楽器を見ることができて良かったです。

その後、国立自然史博物館と国会議事堂を見学しました。自然史博物館では、恐竜、植物、モンゴルの歴史など、いろんなものが展示してありました。すごく面白い体験をさせてもらいました。国会議事堂は、モンゴルの

建物の中で一番大きくてきれいだったように思います。チンギス・ハーンが偉そうに腰かけている大きな像もすごかったです。

そして、この日はホストファミリーと対面の日で、初めてホームステイをしました。すごい緊張していたけど、皆さん本当に優しく、安心することができました。食事やおふろ、睡眠のことも、よくお世話してもらったので、感謝したいです。日本からのお土産を渡したりもして、喜んで下さったのでうれしかったです。

3日目は、いろんなところに行って、とても疲れていたことを覚えています。でも、ホームステイ先の家族の皆さんが支えてくださって、ちょっと仲良くなれたし、明日が楽しみになりました。

(長谷川)

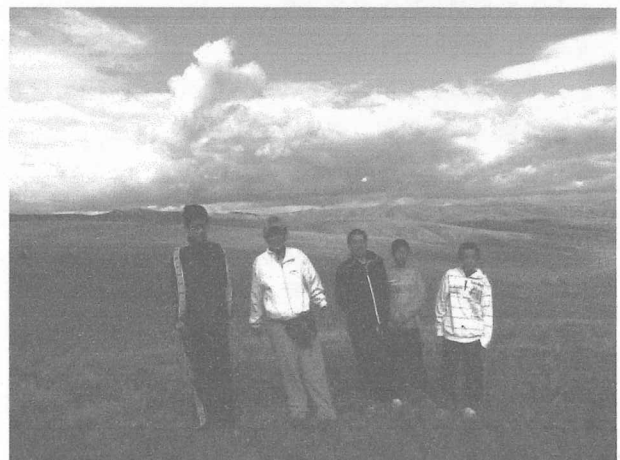
4日目は、ホームステイの家族の方と一緒にすごしました。私が泊めてもらった家はガントウムルさんの家でお父さんとお母さんと、エンフジンさんと、妹さんの4人家族の家にお世話になりました。

私達が行ったところは、まずガンダン寺というお寺に行きました。このまわりにはハトがたくさんいたのでエサをあげたり、建物の中の見学をしました。

そして昼ごはんのあとに、私と松岡さんと長谷川さんの3人で、日本食のたまご焼きを作ってあげました。材料が足りない部分があつて少し困ったけれど、みなさんすごく喜んでくださったので、うれしかったです。

午後からはガントウムルさんの知り合いのゲルに行って、馬を見に行きました。その時に馬のミルクと馬のミルクで作ったお菓子のようなものを食べさせてもらいました。食べてみると変わった味がして、私にはあまりなれない苦手な味でした。

この他にも数えきれないほどたくさんお世話になった



大草原にて

1日でした。また、とても楽しい1日でもありました。家族の方々はみなさん優しく、すごく感謝の気持ちで一杯です。本当に良い思い出になりました。

(水 嶋)

僕は、5日目の8月7日の報告をします。

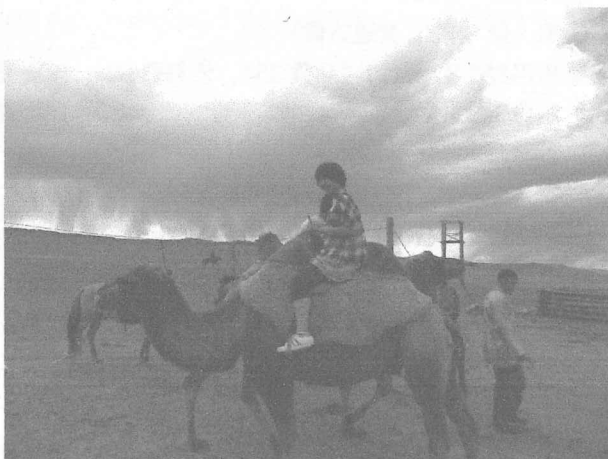
この日は、ホームステイ先の家族に送ってもらい、バヤンゴルホテルに集合しました。そこから玩具博物館に移動して行きました。そこには、トゥムリジ社長が作ったおもちゃや置物が展示されていました。個々には、前日にホームステイ先の家族と来ました。その時は、おもちゃの多さなどにただ驚くばかりでしたが、二回目になると改めて仕組みや発想のすごさを感じました。

次は13世紀のモンゴル村に行きました。着くとすぐに昼食でした。そこでの食事はおいしいものもあったけど、口に合わないものもありました。昼食を終え外に出ると嵐が吹いていました。しかし、それもすぐに止みホッとしました。

いくつかの場所を周りました。その間には乗馬やラクダにも乗りました。ラクダに乗るのは初めてでした。ラクダは後足から立つので、立ち上がる時に落ちそうになりました。また、ここで乗ったラクダは、フタコブラクダといい、モンゴルも合わせて3つの国にしかないそうです。さらに、野生のフタコブラクダはモンゴルにしか生息していないそうです。

13世紀のモンゴル村を出て、ツーリストキャンプに行きました。夕食後、現地の大学生が日本の歌をうたってくれたり、よさこいを披露してくれました。とても楽しかったです。あいにくこの日はくもりだったので、満天の星空は見れませんでした。とてもいい思い出になりました。

(岩 出)



ラクダに乗る体験

6日目は、ツーリストキャンプを出発して大草原の中にあるチンギス・ハーンの巨大像を見ました。チンギス・ハーンは馬に乗っていました。チンギス・ハーンの後足にエレベーターがあり、馬の中を通っていくと、その頭の所に展望窓があり、そこからテーマパーク全体が見えました。そこから見た景色はとても広く、眺めがよく感動しました。帰ってからこの像の大きさを調べてみると30mもありました。

次にウランバートル市内の第54学校を訪問しました。この学校は去年但東中学校に来てくれたヤダムスレン君が通っている学校で、また朝青龍の出身校でもあり、日本語を学んでいる生徒は約500人で、そのうちの17人が来てくれました。最初はお互いに自己紹介をしました。僕達は難しかったけどモンゴル語でしました。モンゴルの人には日本語でしてくれ、とても上手でした。その後は学校生活や部活の紹介をしました。日本から持って行った折り紙、凧あげ、けん玉などをしました。キャッチボールもしました。モンゴルの人にはほとんどこれをやったことがなかったけど、上手でした。みんなで写真もとりました。その後モンゴルの人からお土産をもらい、日本の歌を歌ってもらいました。とてもいい交流会になりました。

昼ごはんはウランバートル市内のレストランでロシア料理を食べました。モンゴルの食べ物と少し似ていました。

昼からはチョイジンラマ寺院博物館に行きました。モンゴルのお祭りの道具などがたくさんありました。とても大きかったです。

その後はホテルに戻り、ホームステイ先へ行きました。僕はヤダムスレン君の家でした。トランプ、キャッチボールなどをして遊びました。この日が最後のホームステイになりました。とても楽しかったです。

(松 本)

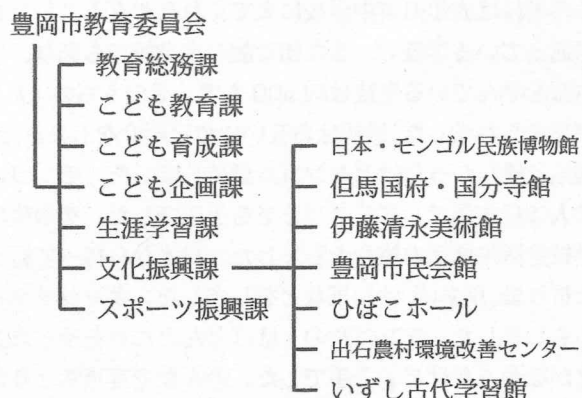


ウランバートル市第54学校を訪問

VI. 管理運営

1. 組織・職員（平成23年3月31日現在）

(1) 組織



顧問（福田 芳郎）

館長（嘱託職員）

主事 1名
嘱託職員 4名

博物館協力会

(2) 職員

館長 井地喜代志（平成21年8月～）
（嘱託職員）

主任 山本 龍馬（平成16年1月～）

嘱託職員 渡辺 律子（平成8年11月～）

嘱託職員 柴田 明子（平成13年4月～）

嘱託職員 橋本真紀恵（平成17年4月～）

嘱託職員 二位 明子（平成17年4月～）

(3) 事務分掌

井地喜代志 管理運営に関する事、講師の派遣に関する事、モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関する事

山本 龍馬 館の庶務、歳入歳出及び経理、企画展示、出前授業及び講師派遣に関する事、各種教室・講習会の開催

渡辺 律子 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関する事、館内外の管理に関する事

柴田 明子 ミュージアムショップに関する事、受付及び案内、各種教室・講習会の開催、館内外の管理に関する事

橋本真紀恵 文書の管理、受付及び案内、博物館協力会に関する事、館内外の管理に関する事

二位 明子 文書の管理、受付及び案内、ホームページの管理、館内外の管理に関する事

2. 予算の概要（決算額）

単位：千円（百円以下四捨五入）

〔人件費〕 16,938

- ①報酬 9,895（嘱託職5名）
- ②給与 3,121（一般職1名）
- ③職員手当等 3,922（通勤手当470、時間外勤務手当427、期末手当2,659、勤勉手当366）
- ④共済費

〔管理費〕 8,123

- ①旅費 32（普通旅費）
- ②需用費 5,875（消耗品費354、燃料費93、印刷製本費101、光熱水費4,867、修繕料426、飼料費34）
- ③役務費 528（通信運搬費398、保険料等80、広告料50）
- ④委託料 1,425（電気保安点検175、自動ドア点検55、消防施設点検21、芝生管理250、警備265、資料燻蒸200、除雪459）
- ⑤使用料 238
- ⑥負担金 10
- ⑦公課費 15

「事業費」2,358

- ①報償費 165
- ②旅費 21 (普通旅費 21)
- ③需用費 1,398 (消耗品費 1,361、印刷製本費 37)
- ④役務費 62 (通信運搬費 62)
- ⑤委託料 640 (企画展示・設營業務 640)
- ⑥使用料 72 (通行料 32、建物借上料 40)

3. 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、14年目を迎え利用者は平成23年3月末累計で、370,644名となった。平成22年度は開館日数が308日で、入館者が11,623名であった。

平成22年度利用者は前年度と比べ20.3%の減少となった。原因としては、チューリップまつりの入場者の減少、夏季の猛暑と冬季の豪雪による天候不順などによる観光客の落ち込みと考えられる。利用者の推移及び内訳は以下のとおりである。参考として過去の利用者状況も記載する。

【平成18年度(開館日:302日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	873	381	297	405	381	209	127	159	125	150	157	175	3,439
一 般	5,952	4,069	2,138	1,306	938	630	801	1,040	420	416	646	589	18,945
高 大	43	87	21	19	57	6	2	7	3	0	13	29	287
小 中	1,049	887	192	229	199	29	31	39	18	29	126	93	2,921
そ の 他	7,210	2,493	1,516	1,147	630	346	353	740	208	186	454	364	15,647
計	15,127	7,917	4,164	3,106	2,205	1,220	1,314	1,985	774	781	1,396	1,250	41,239
1日平均	560	377	160	115	85	47	49	79	34	34	58	46	137

【平成19年度(開館日:308日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	236	134	261	342	161	94	103	67	51	31	12	49	1,541
一 般	1,512	812	454	458	632	577	829	838	340	169	318	663	7,602
高 大	10	12	2	16	48	57	10	4	6	8	33	12	218
小 中	141	65	17	42	135	40	29	24	21	33	91	143	781
そ の 他	1,591	341	244	362	840	528	672	679	342	365	380	650	6,994
計	3,490	1,364	978	1,220	1,816	1,296	1,643	1,612	760	606	834	1,517	17,136
1日平均	130	53	38	45	70	50	63	62	33	26	33	56	56

【平成20年度(開館日:307日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	135	36	43	72	57	31	39	37	24	25	53	54	606
一 般	1,461	617	283	300	535	535	685	684	386	169	535	528	6,718
高 大	18	19	2	5	42	8	8	30	0	4	17	31	184
小 中	158	76	5	15	82	28	48	27	11	17	42	62	571
そ の 他	2,097	492	559	597	696	410	570	427	308	184	850	769	8,769
計	4,679	1,240	892	989	1,412	1,012	1,350	1,205	729	399	1,497	1,444	16,848
1日平均	180	46	34	38	52	39	52	46	32	17	62	53	55

【平成21年度(開館日:307日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	83	30	23	36	25	33	50	22	17	45	40	50	454
一 般	1,059	459	260	385	484	452	507	588	238	325	459	511	5,727
高 大	15	9	19	5	26	13	2	28	5	10	10	8	150
小 中	126	56	10	46	103	42	10	17	3	39	34	69	555
そ の 他	2,851	389	442	577	539	537	380	480	206	406	450	448	7,705
計	4,134	943	754	1,049	1,177	1,077	949	1,135	469	825	993	1,086	14,591
1日平均	153	35	29	40	44	43	35	44	20	36	41	42	48

【平成 22 年度 (開館日 :308 日)】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協会会地区	99	32	25	18	25	53	12	30	12	12	15	31	364
一 般	1,077	459	467	370	383	190	255	497	258	103	252	340	4,651
高 大	17	20	2	4	26	6	15	22	2	1	7	7	129
小 中	97	49	3	30	49	6	10	10	9	13	40	39	355
そ の 他	2,000	555	377	385	481	333	321	359	206	254	357	496	6,124
計	3,290	1,115	874	807	964	588	613	918	487	383	671	913	11,623
1日平均	118	41	35	30	36	24	23	35	21	17	28	35	38

4. 施設管理

(1) 芝生管理

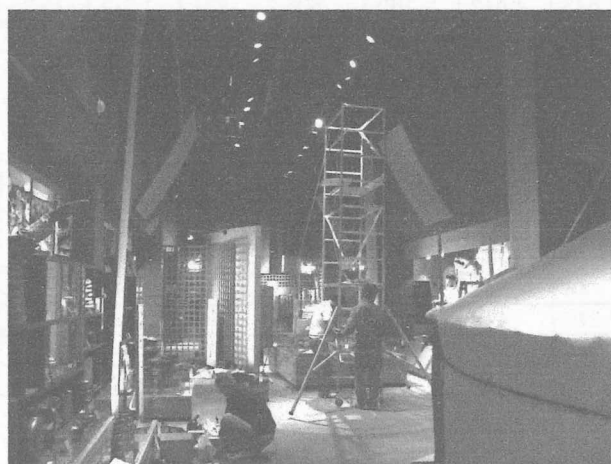
敷地内に広がる芝生管理を但東町シルバー人材センターに年間委託している。本年度はボランティアで行っていただいた活動も含め3回の雑草除去作業を行った。

また、博物館協会や近隣地区の皆さんにも芝生や植木の管理などの館外の美化に協力をいただいた。

(2) 補修工事

① LED照明導入工事 (平成 22 年 12 月)

省エネを目的に、館内4箇所「モンゴルの草原の暮らしと文化」、「アジアの歴史と風土」、「シルクロード」、「ホール」の電気工事を行った。



LED 照明導入工事取替え作業

② 給水管漏水点検修理工事 (平成 23 年 1 月)

館内の水道使用量が増え漏水していることから、館内の便所漏水箇所の点検修理工事を行った。

③ 緑のエコカーテン設置 (平成 22 年 6 月)

A棟西側の図書コーナーは全面ガラス張りとなっているため、夏になると常に日差しが強く入り込む状態である。夏季のみ、アサガオとゴーヤによる壁面緑化「緑のエコカーテン」をA棟西側ガラス面40mにわたって施工した。緑のエコカーテンは直射日光を遮り、見た目にも涼しく、エアコンの電気代節減、CO2削減にもつながるものである。



アサガオとゴーヤのエコカーテン

5. 博物館協会

博物館協会は当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成9年2月10日に発足した。会長は博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長や各団体の長が理事として連なる。また、資母地区選出市議会議員、博物館OBが顧問となる役員構成になっている。

平成22年の活動内容は以下のとおりである。

(1) 役員

会長 加藤公一 常任理事 塩川剛三
理事 14名 顧問 7名

(任期:平成22年1月1日~平成22年12月31日)

(2) 活動内容

① 各種事業への協力

博物館事業として4回開催した企画展、初めて開催したモンゴルフェスティバル事業をはじめ、各種開催事業への協力をいただいた。

② 特産物販売所の管理・運営

4月9日から4月21日まで延べ13日間、博物館前の販売所にて観光案内と地域で生産している物産販売の協力を得た。なお、協会員の高齢化等により、昨年から年末までの販売所開設は中止されたままである。

③ 役員会の開催

4月22日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の現状説明と運営に対する協力依頼を行った。

④ 芝生広場除草ボランティア

敷地内芝生広場の除草作業を随時ボランティアで行っていただいた。

6. 各種委員会委員等の受諾

平成22年度に博物館職員が委嘱を受けた各種委員会、協会役員等は次のとおり。

井地 喜代志

① 兵庫県博物館協会理事

(平成21年8月~平成23年3月31日まで)

② 但馬博物館連絡会監事

(平成21年8月25日~平成23年3月31日まで)

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成23年3月末で140館が加盟している。県立歴史博物館が事務局館を務めている。当館は平成14年4月から理事館になっている。

平成22年5月20日 第1回理事会

平成22年6月10日 総会、第1回研修会

平成22年10月13日 第2回理事会

平成22年11月12日 2回研修会

平成23年2月25日 研究会

ホームページでの夏休み子ども向けイベントの紹介
展覧会案内情報更新

はくぶつかんガイドの作成・配布

ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成9年4月25日に設立され、平成23年3月末現在では18館が加盟している。当館は平成9年4月に加盟し、その後、幹事館となり、平成18年6月から平成21年8月まで事務局担当、その後は監事を務めている。

平成22年7月19日 委員会

平成22年8月23日 総会

平成22年11月22日 研修会

各館・園のパンフレット・ポスター等の相互配布・
掲示

各種学校校園長会等での啓発

ミュージアムマップ(21年度作成分)の配布

博物館活用プログラムの検討・冊子作成(今年度は
準備期間)

未加盟館へのはたらきかけ

8. 博物館日誌抄

平成 22 年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 けやきホール 14 名見学
- 4月2日 豊岡市立但東中学校校長来館
- 4月4日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）
- 4月6日 金津匡伸追悼文集打合せ（本庁）、老人クラブ高倉台高寿会 64 名見学、モンゴル国立自然史博物館館長 N. ゴリグトバートル氏来豊（～4 / 13）
- 4月7日 モンゴル国立自然史博物館館長 N. ゴリグトバートル氏市長表敬訪問
- 4月8日 第 50 回企画展「大地の鼓動～モンゴルの大自然と動物たち」開催（～8 / 31）
- 4月9日 たんとうチューリップまつり開園、博物館協力会販売所開設、出石愛育園・小坂保育園 25 名見学
- 4月10日 豊岡市教育長来館
- 4月13日 京丹後市聴覚言語障害者地域活動支援センター 21 名見学
- 4月16日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）、ほうずき寮 12 名見学、神戸新聞取材
- 4月19日 福知山市 22 会 15 名見学
- 4月21日 県立考古博物館調査員 2 名「遺跡調査関連」見学、京都市在住 宇津崎氏・㈱シルク温泉やまびこ社長来館
- 4月22日 博物館協力会打合せ（博物館主催）
- 4月25日 第 1 回モンゴル博物館フェスティバル 音楽で旅するモンゴル」開催（TiO 関係者 23 名協力、210 名来館）、神戸新聞・豊岡市役所秘書広報課フェスティバル取材
- 4月26日 豊岡市国際交流協会但東支部役員会（協会主催）
- 4月27日 市内各中学校へモンゴル友好訪問事業説明廻り
- 4月29日 あさご芸術の森館長来館（但馬地域博物館連絡会会計監査）
- 4月30日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）、市内各中学校へモンゴル友好訪問事業チラシ配布廻り
- 5月9日 ㈱シルク温泉やまびこ社長来館、けやきホール施設長来館
- 5月11日 神戸シルバーカレッジ 10 名見学、全館燻蒸、出石・但東地域各小学校へ体験教室

実施依頼廻り

- 5月13日 シルバー人材センター除草作業
- 5月14日 ㈱シルク温泉やまびこ社長来館
- 5月17日 ㈱ミセスリビング宇津崎氏・ラドナーバザル・バヤンムンフ氏来館（R・バヤンムンフ氏よりモンゴル民族衣装 4 着を豊岡市へ寄贈、シルバー人材センター除草作業
- 5月18日 豊岡市立資母小学校 2 年学外学習来館、㈱ミセスリビング宇津崎氏、ラドナーバザル・バヤンムンフ氏来館
- 5月21日 豊岡市立但東中学校校長来館、金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）
- 5月23日 京丹後市網野町俳句会 7 名見学
- 5月24日 金津匡伸追悼文集編集会議（但馬国府・国分寺館長、竹野スノーケルセンター所長他来館）
- 5月27日 神戸市立布引中学校 5 組 26 名見学
- 5月28日 神戸市立布引中学校 1 組 3 名見学
- 5月29日 シルバー人材センター除草作業
- 5月30日 赤野区消防ポンプ車を旧但東北中学校校舎へ移動
- 5月31日 神戸新聞取材、豊岡市立但東中学校校長来館、トライやるウィーク但東中学生 2 名受入（～6 / 4）、エコカーテン設置作業（～6 / 1）
- 6月1日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）
- 6月3日 文化財パトロール、女性史を考える会 11 名見学、但東総合支所長来館
- 6月5日 私立近畿大学附属中学校 1 年生 7 名見学、宮垣三二氏から但東ライオンズクラブ備品（14 品）を伝承館収蔵庫へ寄託
- 6月7日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）、シルバー人材センター除草作業
- 6月8日 市内各中学校へモンゴル友好訪問事業参加者募集廻り、豊岡市国際交流協会但東支部役員会（協会主催）
- 6月10日 加古川公民館寿大学 152 名見学
- 6月11日 金津匡伸追悼文集打合せ（但馬国府・国分寺館長来館）
- 6月12日 体験教室「オオサンショウウオの土鈴づくり」開催
- 6月13日 如布区 博物館除草作業
- 6月17日 産経新聞企画展取材
- 6月18日 京都府与謝の海福祉会支援センターろむ 17 名見学

6月20日	上野ふれあいサロン 15名見学、豊岡市立資母小学校3年学P 41名七宝焼づくり体験教室、金津前館長1周忌法要	7月31日	豊岡市立寺坂小学校1・2年学P 25名マグカップづくり体験教室
6月21日	神戸新聞取材、永室老人クラブ長楽会33名見学	7月31日	豊岡市国際交流協会但東支部懇親会(協会主催)
6月22日	消防施設点検	8月1日	体験教室「風鈴づくり」・「オオサンショウウオ土鈴づくり」開催
6月24日	豊岡市立資母保育園 25名見学	8月2日	「先生のトライやる」1名(～5日)
6月27日	豊岡市立合橋小学校1年学P 22名マグカップづくり体験教室・見学、毎日放送三多記者来館	8月3日	第9回モンゴル友好訪問使節団(10名)モンゴル国へ出発(～10日)、体験教室「モザイクアート」開催
6月28日	金津匡伸追悼文集打合せ(但馬国府・国分寺館長来館)	8月5日	豊岡市議会文教委員会管内行政視察研修来館
6月29日	(株)シルク温泉やまびこ社長来館	8月6日	豊岡市国際交流協会但東支部長来館、FMジャングル見学
6月30日	第1回モンゴル友好訪問使節団打合せ(本庁)	8月8日	体験教室「手作り!ミニ馬頭琴」開催
7月2日	金津匡伸追悼文集成果物持参(但馬国府・国分寺館長来館)	8月12日	関西電気保安協会点検
7月3日	金津匡伸追悼文集記者発表(但馬国府・国分寺館長来館)、読売新聞・神戸新聞・朝日新聞取材	8月17日	豊岡市中区民生児童委員21名見学、豊岡市国際交流協会但東支部長来館、「先生のトライやる」1名(～20日)
7月4日	豊岡市立高橋小学校1・2年学P 9名マグカップづくり体験教室・見学、人工芝24本試験植栽(館東側)	8月19日	豊岡市国際交流協会但東支部長来館
7月6日	金津匡伸追悼文集資料返却(但馬国府・国分寺館長来館)、市内各中学校へモンゴル友好訪問事業打合せ廻り	8月20日	体験教室「松ぼっくりのマスコットを作ろう」・「しおり作り」開催
7月8日	金津匡伸追悼文集関係者配布	8月22日	体験教室「七宝焼」開催
7月10日	山羊小屋内の丸木腐食のため丸木入替え、山羊小屋柵修理	8月23日	8月23日 竪穴式住居撤去作業(～24日)、第9回モンゴル友好訪問使節団帰国報告会事前打合せ(本庁)
7月12日	千里寮50名見学	8月27日	第9回モンゴル友好訪問使節団帰国報告会(本庁)
7月13日	豊岡市立豊岡南中学校9名見学、モンゴルの里スーチンドロン氏来館、先生のトライやるウィーク打合せ	8月30日	竪穴式住居跡整地作業
7月15日	宝塚歴史と歩く会40名見学	9月2日	第51回企画展「版画で描くモンゴルの情景 阿拉坦図展」開催(～11/23)
7月16日	モンゴル友好訪問事業打合せ(豊岡市立但東中学校山下教諭)	9月4日	ひぼこホール館長来館
7月17日	第2回モンゴル友好訪問使節団打合せ(本庁)、もり・けん氏来館	9月7日	モンゴル国立自然史博物館副館長J. ミヤンダス氏来豊(～9/13日)、エコカーテン撤去作業
7月22日	プライマリーイングリッシュ 18名見学	9月9日	モンゴル国立自然史博物館副館長J. ミヤンダス氏教育長表敬訪問、神戸新聞企画展取材
7月25日	三木市東営農組合 23名見学	9月16日	丹波市視覚障害者福祉会 23名見学
7月27日	神戸大学木村・松下教授古文書調査来館、第9回モンゴル友好訪問使節団結団式(本庁)	9月23日	(株)ミセスリビング宇津崎氏来館(R・バヤムンフ氏よりデールの帯2本豊岡市へ寄贈)、(株)シルク温泉やまびこ社長来館
7月29日	体験教室「つくって遊ぼう～ビー玉万華鏡」開催、真野副市長来館、FMジャングル見学	9月24日	如布老人会・小中学生との交流会32名見学
7月30日	シルバー人材センター除草作業(ボラン	9月26日	下畑山有志9名除草作業(ボランティア)

9月30日	豊岡市立城崎小学校1～3年生80名遠足見学	11月26日	人会20名見学
10月3日	神戸親和女子大学12名見学	11月27日	浜坂農会長会15名見学
10月7日	京丹後市立野間小学校1～3年生7名校外学習来館、豊岡市立中筋小学校3年生23名校外学習来館、関西電気保安協会点検	12月2日	広島県呉市(株)IHI8名見学
10月10日	博物館前にて如布地区神楽奉納	12月3日	消防施設点検
10月12日	全館害虫駆除	12月3日	毎日新聞企画展取材、企画展資料引取り(但馬国府・国分寺館長来館)
10月14日	出石・但東なかよし交流会46名「紙ひこう機づくり」体験教室・見学	12月4日	みずほ証券19名見学、スポーツクラブ21北条85名見学
10月16日	ボランティア労力ネットワーク18名見学	12月6日	ひぼこホール館長来館
10月17日	オオサンショウウオ用マイクロチップ取付指導(但馬国府・国分寺館長来館)	12月7日	関西電気保安協会保守点検
10月18日	坂野地区文化財地質調査打合せ(出土文化財管理センター所長来館)	12月10日	(財)東方研究会田中公明氏来館
10月19日	プランター植付作業	12月11日	チューリップ球根植付け
10月21日	城ヶ谷遺跡遺物引取り(出土文化財管理センター所長来館)	12月15日	LED照明導入工事(かとう電気)
10月23日	オオサンショウウオ捕獲道具持参(但馬国府・国分寺館長来館)	12月17日	香住区中野老人会12名見学
10月26日	関西技術工業誘導灯5箇所交換	12月19日	如布子ども会15名体験教室、チューリップ球根植付け
10月29日	兵庫県退職公務員連盟加古川支部21名見学、須井老人クラブ16名見学	12月21日	LED照明導入工事竣工検査
10月31日	青森県宮城市考古資料引取り(但馬国府・国分寺館長来館)	12月23日	FMジャングル取材
11月5日	丹波市立東小学校年生54名校外学習来館、紀ノ川東岸8名見学	1月6日	和泉市詩吟連盟16名見学
11月7日	淡路市文化協会21名見学	1月7日	神戸新聞企画展・まるごとモンゴルお正月取材
11月8日	浜脇地区自治連合会23名見学	1月11日	NPO法人しゃがゐ西村幹也氏・クグルシン氏・ドルジパラム氏来豊(～22日)
11月10日	JENESYS(21世紀東アジア青少年大交流計画)モンゴル国高校生等9名来館	1月15日	植村直己冒険館長来館
11月13日	(株)シルク温泉やまびこ社長来館	1月16日	「きて・みて・きいて まるごとモンゴルお正月」開催、神戸新聞・産経新聞取材
11月16日	コウノトリ郷公園副園長来館	1月17日	遊牧の民の調べコンサート開催(資母地区公民館)
11月18日	コスモ観光14名見学、日高町西気区長7名見学、和江老人クラブ15名見学	1月18日	遊牧の民の調べコンサート開催(兵庫県立日高高等学校、シルク温泉)、京丹後市立神野小学校・湊小学校・田村小学校26名校外学習来館
11月19日	豊岡市商工会10名見学、自動ドア点検	1月19日	遊牧の民の調べコンサート開催(兵庫県立出石高等学校)
11月20日	モンゴルの里スーチンドロン氏、アラ坦図氏来館(～11/21日)、「関西文化の日」入館料無料(～11/21)	1月20日	遊牧の民の調べコンサート開催(たんたん温泉)、LED照明導入追加発注分工事(かとう電気)
11月21日	馬頭琴ミニコンサート開催、産経新聞企画展取材	1月21日	遊牧の民の調べコンサート開催(グループホームこころ)、(株)シルク温泉やまびこ社長来館
11月22日	広島モンゴル協会小中勝利氏外3名来館	1月24日	図書整理(但東図書分館)
11月25日	第52回企画展「モンゴルの工芸—その文化を探る」開催(～2/8)、塩田老	1月25日	消防訓練(博物館職員、出石分署但東駐在所協力)、文化財パトロール
		1月27日	伝承文化体験交流館屋根雪おろし作業
		1月31日	但東地域内の国・県・市指定文化財屋根の雪おろし周知、企画展打合せ(但馬国

- 府・国分寺館長来館)
- 2月1日 今井敏郎邸(市指定文化財)の豪雪被害調査(被害無し)
- 2月3日 久畑一宮神社境内のけやき(市指定文化財)の豪雪被害調査(異常なし)
- 2月21日 馬頭琴体験教室(ロビーにて)
- 3月10日 ヤギ小屋柵修理
- 3月11日 東日本大地震発生(M8.8)
- 3月14日 東日本大地震義援金箱を設置
- 3月29日 飲料自動販売機撤収

9. お客様の声から抜粋

以下は平成22年度の来館者の声を抜粋したもので、博物館職員として真摯に受け止め今後の運営に活かしたいと考えている。

- ◎4月10日 兵庫県豊岡市(女性)
昔の家、おばあちゃんが可愛かった。また来ます。
- ◎4月10日 兵庫県豊岡市(女性)
プレーリードックを、もうすこしふやして。
- ◎4月15日 匿名
とても遠い国の様に思いましたが、よく説明をしていただき、とても良くわかりました。ありがとうございました。
- ◎4月18日 京都府福知山市(女性)
とてもたのしかったので、また来たいと思いました。
- ◎4月19日 兵庫県加古郡播磨町(男性)
モンゴル博物館あるのが初めて知った。又、孫と一緒に来たいと思います。ありがとうございます。
- ◎4月29日 京都府宮津市(女性)
モンゴルのことが判ってよかったです。ゲルの入り口が低くて、頭をぶつけそうでした。
- ◎5月1日 京都府綾部市(女性)
すばらしいものを見せてもらいました。日本の昔の生活よみがえってきました。なつかしかったです。
- ◎5月2日 京都府京丹後市(男性)
モンゴル民族の刀や楽器などが多く展示しており、非常に良いと思いました。弓などもおいてはどうでしょうか。
- ◎5月4日 兵庫県神戸市(女性)
はくせいよかったです。服を着れることもよかったです。
- ◎5月5日 兵庫県揖保郡(男性)
入場回数券があればいいなあ~なんて思っちゃいました。また、ぜひ来たいと思います。モンゴル最高~
- ◎5月9日 京都府京都市(女性)
1番最後の人形(はくせい)を、もっと多くしてください。ほかの`てんじ`の仕方は良かったです。プレーリードックも、かわいかったです。1ぴきではなく、4~5ひきぐらいにしてください。
- ◎5月23日 大阪府高槻市(女性)
衣装試着させてもらいました。楽しかったです。
- ◎5月25日 神奈川県川崎市(女性)
子どもたちがプレーリードックに大喜びしていました。モンゴルの文字がロシア文字ということに驚き、興味深く見て回りました。民族装飾は意外にも男性陣が楽しく着て写真を撮ることができました。ありがとうございました。
- ◎5月30日 兵庫県西宮市(女性)
何かもっと人をひきつける物は、ないのですか。ゲルだけでは。
- ◎6月5日 兵庫県豊岡市(女性)
モンゴル館に来て、いろんな物が展示されていたので、よく分かりました。また、来たいと思いました。
- ◎6月5日 兵庫県豊岡市(女性)
モンゴルの家の中の様子や、くらし方がよく分かった。ぼとうきんや骨を使ってするゲームもすごいと思った。
- ◎7月13日 兵庫県丹波市(女性)
大変参考になりました。今後は娘を連れて来ます。
- ◎7月20日 匿名(男性)
思いのほか、充実した展示で感銘しました。失礼ですが地方自治体の手に余る会館だと思います。たとえば大阪、兵庫、京都などの自治体にも提携し、国内(外)の旅行社等にもアピールして、振興を図られますよう期待します。
- ◎7月29日 兵庫県豊岡市(女性)
モンゴルコスチュームが楽しかったです。モンゴルの絵もすばらしかったです。
- ◎8月3日 兵庫県豊岡市(男性)
プレーリードックがかわいかった。
- ◎8月3日 匿名(女性)
本はおもしろかった。モンゴルのことが、よくわかった。
- ◎8月12日 兵庫県西宮市(女性)
いろいろとわかった。おもしろかった。子どもの夏休みの宿題(モンゴルの歴史)に、とても役にたちました。
- ◎8月13日 京都府舞鶴市(女性)
衣装を自由に着ることができたので、大変楽しむことができました。
- ◎8月14日 奈良県(女性)

服がすごかったです。モンゴルのくらしがよくわかったです。

◎ 8月16日 大阪府大阪市(女性)

モンゴルの民族衣装が着れてよかったです。ホントにあんな家で大丈夫かな。おもしろかったです。

◎ 8月17日 兵庫県宝塚市(男性)

初めてモンゴルの事を知った。

◎ 9月23日 京都府京都市(女性)

展示品がとても充実していて、本当に来て良かった。ペポカボチャありがとうございました。

◎ 9月25日 兵庫県豊岡市(男性)

案内を頂き版画を楽しみに来ました。私は切り絵をしていますので、参考にしたいと思います。

◎ 10月9日 京都府京丹後市(男性)

毎回のご案内厚くお礼申し上げます。モンゴルは私のあこがれの地です。本日の版画展、但東町の昔の暮らし、私の家にも共通のものがあり当時を思い出しておりました。又、お願いします。

◎ 10月11日 愛知県常滑市(女性)

モンゴル紙幣・硬貨も展示があると良かった。レートがいくらとか。モンゴルの食べ物食べてみたい。民族衣装体験出来る所が非常に良かったです。楽しめました。

◎ 10月15日 兵庫県豊岡市(女性)

テスト期間中のため静かに勉強したくて来ました。とても集中できました。有難うございました。また来ます。

◎ 11月5日 兵庫県丹波市(女性)

とっても、モンゴルのことがわかりました。

◎ 11月11日 兵庫県豊岡市(男性)

トイレがよく清掃してあり気持ちよい。

◎ 11月30日 京都府福知山市(男性)

試着写真とらせていただきました。ありがとうございました。

◎ 12月25日 大阪府羽曳野市(男性)

モンゴルずもうの衣装も着たかった。

◎ 1月29日 兵庫県朝来市(女性)

「スーホの白い馬」を授業でしていて、馬頭琴がすごく気に入ったようで、ホンモノのモノを見て感動したようでした。授業で施設の方が来てモンゴルの事を教えていただいて、興味をもったようです。たいへん貴重なお時間をつくっていただいて親としてうれしかったです。ありがとうございます。

◎ 2月5日 兵庫県美方郡(女性)

過日、小学校で講演していただき、子どもが「馬頭琴」に興味を抱き、再び見せていただくため来ました。

「スーホの白い馬」の世界が、より鮮明な印象を持つ

て心に刻まれることと思います。

◎ 2月5日 兵庫県美方郡(女性)

作品が全部きれいで、学校で習った「馬頭琴」もあったし、見るだけでも楽しかったです。また見に来たいな一と思いました。ゲル(モンゴルの家)も広がったし、すごかったです。

◎ 3月27日 兵庫県豊岡市(女性)

初めて知ったことがたくさんありました。小学校で勉強して馬とうきんを見るのは2回目で、また少し違いました。楽しかったです。ありがとうございました。

◎ 3月31日 京都府京丹後市(女性)

孫と一緒に春休みを利用して来ました。とても勉強になりました。孫は、以前遠足で来たことを色々説明してくれ、大きくなったとうれしかったです。

10. 日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

施行：平成 17 年 4 月 1 日
条例第 179 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、日本・モンゴル民族博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 豊岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等を行うとする者は、教育委員会の許可を受け、1 点 1 回につき 2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者

は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等(以下「建物等」という。)を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、教育委員会がその使用を不相当であると認めるとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 教育委員会は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料(以

下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 教育委員会は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

別表第1(第5条関係)

区 分	観覧料(1人1回につき)		備 考
	個 人	20名以上の団体	
一 般	500円	450円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300円	250円	
小学生・中学生	200円	150円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区 分	使 用 料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企 画 展 示 室	1,500円	2,000円	
体験交流室(1人につき)	100円	200円	200円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,000円		

備 考

- 1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。
- 2 電気窯の使用料は、1回当たり1,000円とする。

11. 施設概要

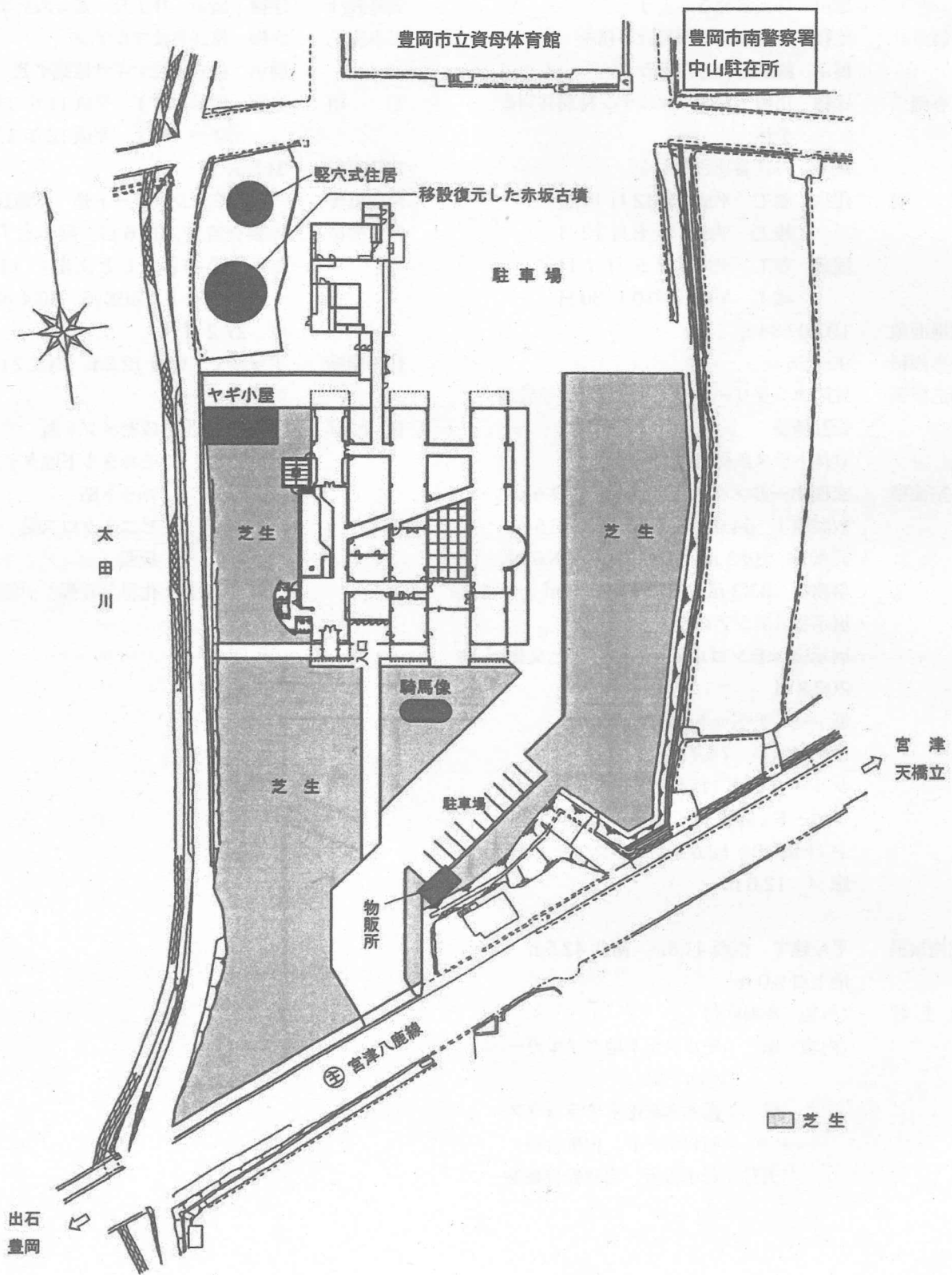
(1) 本館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84 m ²
建築面積	999.65 m ²
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6 m ² 、 収蔵庫1 54.6 m ² 、収蔵庫2 56.5 m ² 、 荷解室 33.3 m ² 、多用途室 28.0 m ² 、 事務室 33.3 m ² 、準備室 48.2 m ² 展示室「アジアの歴史」 75.7 m ² 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m ² 展示室「チベット仏教」 37.7 m ² 企画展示室 74.4 m ² シルクロード(回廊)1 13.3 m ² 、シル クロード(回廊)2 13.3 m ² 、シルクロ ード(回廊)3 12.6 m ² 、シルクロード(回 廊)4 12.6 m ²
建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m 地上高 9.0 m
仕 上 げ	〈外装〉 複層吹付 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井 : 杉小幅板、岩綿吸音板貼

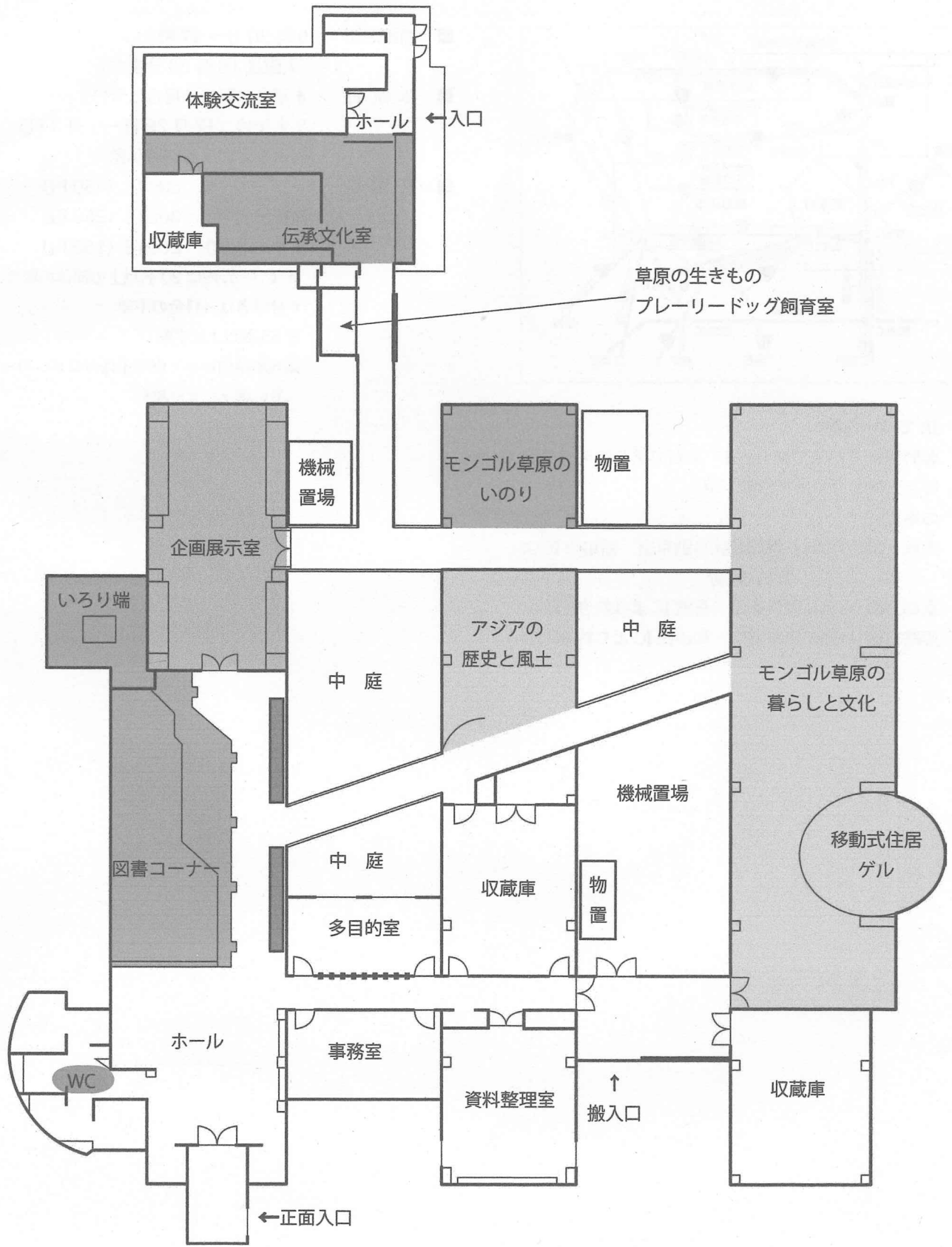
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
建築面積	317.57 m ²
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m ² 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m ² 、 シルクロード(回廊)5 36.4 m ² 、収蔵 庫 27.2 m ²
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉 押出形成セメント板 〈内装〉 床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井 : 化粧PB張 一部杉板張

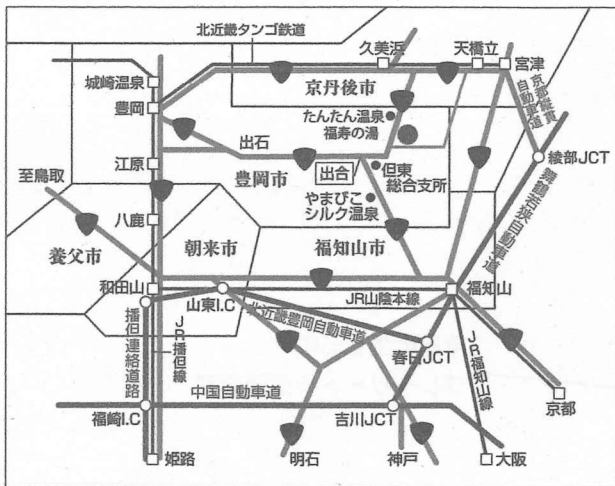
(3) 配置図



(4) 館内図



12. 交通案内



- JRで（山陰線）
豊岡駅よりバスで約60分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で
大阪・神戸方面・・・舞鶴若狭自動車道 福知山ICより約60分
京都方面・・・京都縦貫道路 丹波ICより約90分
姫路方面・・・播但連絡道路 和田山ICより約60分

13. 利用案内

- 開館時間 9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
- 休館日 水曜日（祝日の場合は翌日）
年末年始（12月28日～1月4日）
展示替えによる臨時休館
- 入館料
 - 一 一般 500円（450円）
 - 高校・大学生 300円（250円）
 - 小学・中学生 200円（150円）
 ※（ ）内は20名以上の団体の場合
 ※身障者は各料金の半額
 ※65歳以上は半額
 ※兵庫県内の小・中学生はココロカードの提示により無料

日本・モンゴル民族博物館年報第 12 号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum

No.11 (for the fiscal years of 2010)

〒 668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL (0796)56-1000 / FAX (0796)56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／日本・モンゴル民族博物館

平成 23 年 3 月 31 日発行